

新処理施設整備に係るごみ処理システムの統一調整方針

～ 小美玉市廃棄物減量等推進審議会 最終答申 ～

令和2年2月



令和3年4月から供用開始 新ごみ処理施設完成イメージ

小美玉市 市民生活部 環境課 廃棄物対策係

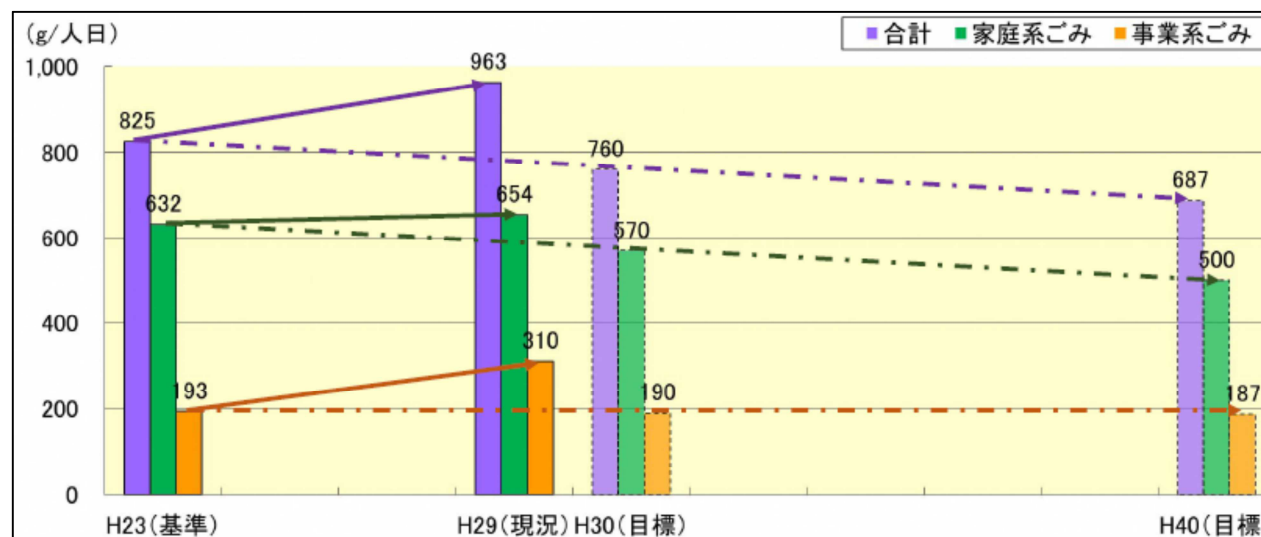
目次

1. 経緯目的	-P2-
2. 変更内容	
A. ごみ処理区域	-P3-
B. 処理手数料	-P4-
ア. 新制度移行留意点	-P5-
イ. 指定袋基本仕様	
ウ. 指定袋カラーデザイン	
C. 排出方法	-P6-
3. 今後予定	-P7-
4. 基本データ	-P8-
A. 人口	
B. ごみ量	
C. 経費	-P9-
D. 収支関係	
参考 (他自治体ごみ袋)	-P10-
(有料化指針)	-P11-

【1. 経緯目的】

これまで、ごみ処理施設が異なることから、小川、美野里、玉里の3地区のごみ分別や収集方法が相違していました。合併以降、人口減少下にもかかわらず、ごみの総排出量の約8割を占める可燃ごみは横ばいのまま推移し、一人あたりのごみ量は増加する状況にあります。また、平成26年度に策定した市の一般廃棄物処理基本計画に定める年次目標値と実績値においては、下図のとおり、年々、乖離傾向が顕著となっています。

(P9「4. 基本データ」参照)



昨今、プラごみ、廃棄物の輸入規制、食品ロス等の問題など、廃棄物処理においても大きな転換期を迎えています。こうしたなか、市としても、毎年、3～4億円を要するごみ処理経費（建設費を除く）の縮減に努めながらも、新ごみ処理施設を契機として、引き続き、法令に基づく廃棄物の適正処理、並びに、ごみの減量化及び資源化を進める必要があります。

以上を踏まえながら、2021年（令和3年）4月からの新ごみ処理施設（高崎地内）の供用開始にあわせて、市全域のごみ処理システムについて、来年度から段階的に統一します。

【2. 変更内容】

A. ごみ処理区域

合併以降，小川玉里と美野里の2地区に分かれているごみ処理区域について，市全域に統一します。

【現】2021年3月まで

項目	小川玉里地区	美野里地区	備考
組合	霞台厚生施設組合	茨城美野里環境組合	根拠：組合同規約
施設	環境センター	クリーンセンター	根拠：組合同条例

【新】2021年4月から

項目	小川玉里地区	美野里地区	備考
組合	組合を統合		根拠：組合同規約
施設	環境センター敷地内に新ごみ処理施設を，クリーンセンター敷地内に中間置場をそれぞれ供用開始します		根拠：組合同条例

B. 処理手数料

現在，地区により一部異なる処理手数料について，市全域で統一する予定です。
 合併以降，人口は減少傾向にあるものの，ごみ量は横ばい，一人あたりのごみ量としては増加しています。
 昨今のプラごみ問題などにも配慮し，ごみの減量及び資源化を推進し，受益者負担の適正化を図る必要があります。
 (P11「参考_国有料化指針」参照)

【現】2021年3月まで

項目	小川玉里地区	美野里地区	備考
可燃ごみ	指定袋 45L10枚入り200円 30L10枚入り150円		集積所回収
粗大ごみ	(実施なし)	シール券1枚100円	集積所回収
粗大ごみ(生活系)	大1,000円 中 500円 小 300円	(実施なし)	戸別回収
廃家電4品目	1,500円	(実施なし)	戸別回収



【新】2021年4月から

項目	全地区	備考
可燃ごみ	指定袋 45L10枚入り200円 30L10枚入り150円 20L10枚入り100円	集積所回収
粗大ごみ	(実施なし) ※シール券廃止	集積所回収
粗大ごみ(生活系)	大1,000円，中500円，小300円	戸別回収
廃家電4品目	1,500円	戸別回収



(P10「4. 基本データ C. D」参照)

【ア. 新制度移行に伴う留意点】

- ・美野里地区は粗大ごみシール券を廃止します。(シール券は令和2年度内に限ります)
※戸別回収制度に移行し，市全体で同一システムを確立します。

【イ. 可燃ごみ指定袋の基本仕様】

- ・大 45ℓ，中 30ℓ，小 20ℓの 3種類とします。 ※新たに「小 20L」を追加します。
- ・主な仕様は，材質（高密度ポリエチレン）や厚み（0.03 ミリ），重さ，強度，形状はこれまでと同等とします。

【ウ. 可燃ごみ指定袋のカラーデザイン】

- ・今後，新処理施設の供用開始以降，ごみ量の動向を踏まえながら，構成4市町とともに検討します。

【本体】

燃やすごみ専用袋
(大 45L)

可燃ごみを減らそう！
資源ごみはリサイクルへ

- ◎収集日当日、決められた場所・時間に出してください。
- ◎生ごみは、水分をよく切ってください。
- ◎空缶・ビンなど燃えないごみは入れないでください。
- ◎重い場合は、ひもで十字にしばってください。
- ◎ルール違反のものは、収集できません。

小美玉市

地区名		氏名	
-----	--	----	--

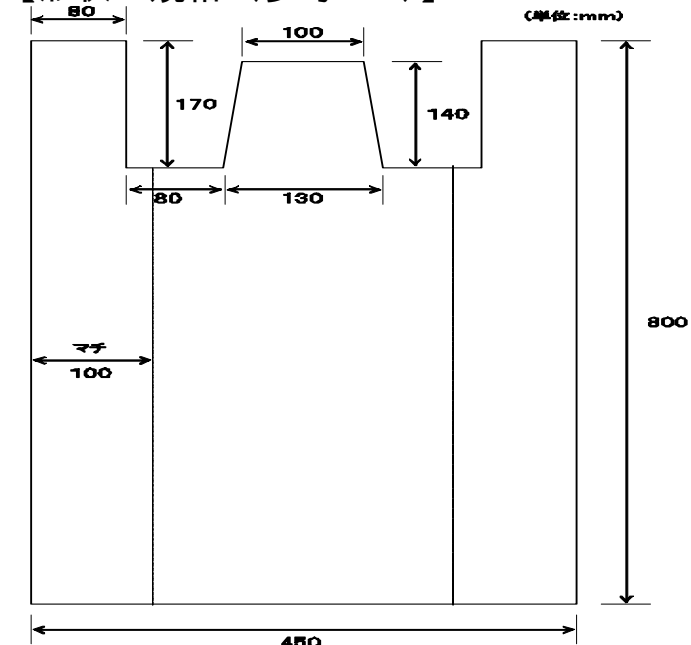
※色：白色半透明

【外袋】

小美玉市
燃やすごみ専用袋
(大 45L)
10枚入り

<p>家庭用品品質表示法に基づく表示</p> <p>原料樹脂 高密度ポリエチレン 耐冷温度 -30度 寸法外形 (大きさ) 厚さ 0.030 (30ミクロン) 枚数 10枚 取扱上の注意 火のそばに置かないで下さい。</p> <p>表示者 会社名 ○○○○○○○○○○○○○○○○○ 住 所 ○○○○○○○○○○○○○○○○○ TEL ○○○-○○○-○○○○ FAX ○○○-○○○-○○○○</p>	<p>警告 ●この袋は、幼児や子供にとって窒息などの危険が伴うものです。幼児や子供の手の届くところに置かないでください。</p> <p>注意 ●突起物のあるものを入れると材質上破れることがありますのでご注意ください。</p> <p>●燃えやすいので、火のそばに置かないでください。</p> <p>●摩擦などにより衣服に色がつく場合がありますので、こすらないようにしてください。</p>
---	--

【形状・規格（参考 45L）】



(P11「参考_指定ごみ袋_他自治体サンプル」参照)

C. 排出方法

地区により一部異なる排出方法について段階的に統一します。

搬入車両が特定曜日及び時間帯に集中するのを回避するため、収集曜日を一部調整します。

2020年4月から

項目	小川地区	玉里地区	美野里地区	備考
カン金属	月2回	月2回	月2・3回	集積所回収 ※美野里地区は粗大 ごみ含む
古紙	月2回	月2回	月2回	集積所回収
回収開始時刻	8時00分	8時00分	8時30分	集積所回収
収集曜日エリア	一部変更	一部変更	変更なし	集積所回収

2021年4月から

項目	小川地区	玉里地区	美野里地区	備考
ガラスビン	月1回	月1回	月1回	集積所回収
ガラス陶磁器	月1回	月1回	月1回	集積所回収
カン金属	月2回	月2回	月2回	集積所回収 ※美野里地区は粗大 ごみ含む回収を廃止
蛍光灯電球	月1回	月1回	月1回	集積所回収
古布【新規】	隔月1回	隔月1回	隔月1回	集積所回収
紙パック【新規】	隔月1回	隔月1回	隔月1回	集積所回収
草木【新規】	—	—	—	自己搬入
粗大ごみ	月1回	月1回	月1回	戸別回収
廃家電4品目	月1回	月1回	月1回	戸別回収
回収開始時刻	8時00分	8時00分	8時00分	集積所回収

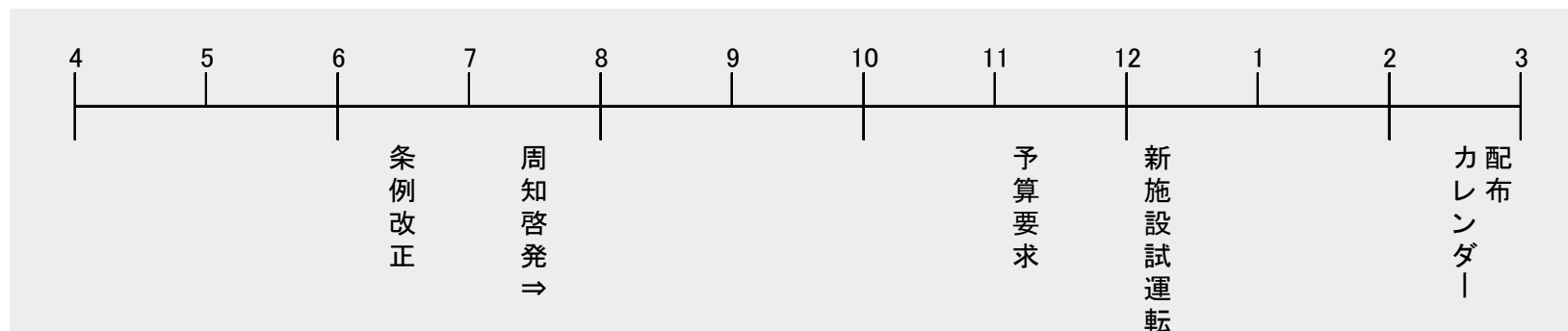
【3. 今後予定】

今後、令和3年4月の新処理施設の供用開始に向けて、適時、ごみカレンダーや広報紙等を通じて、市民の皆さんへの周知啓発に努めていきます。

2019年度（令和1年度）

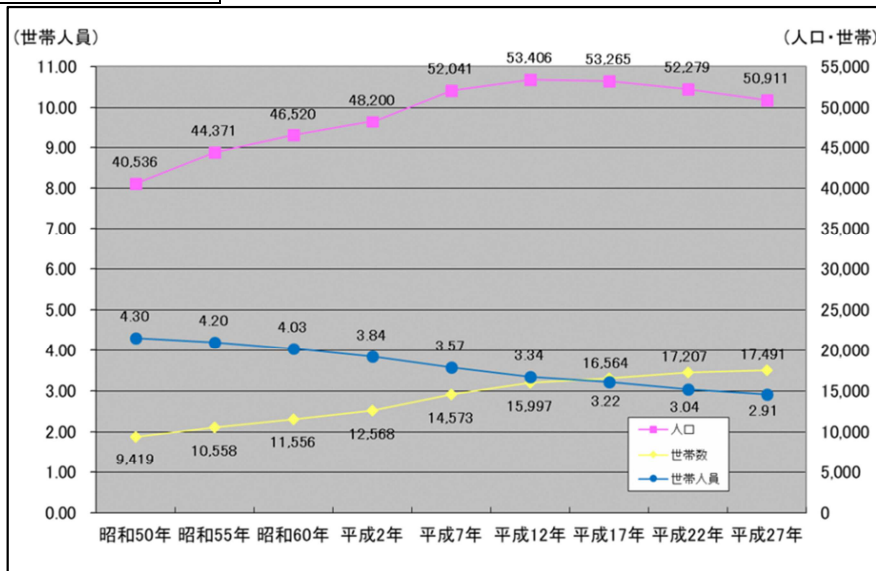


2020年度（令和2年度）



【4. 基本データ】 ※小美玉市廃棄物減量等推進審議会資料から抜粋

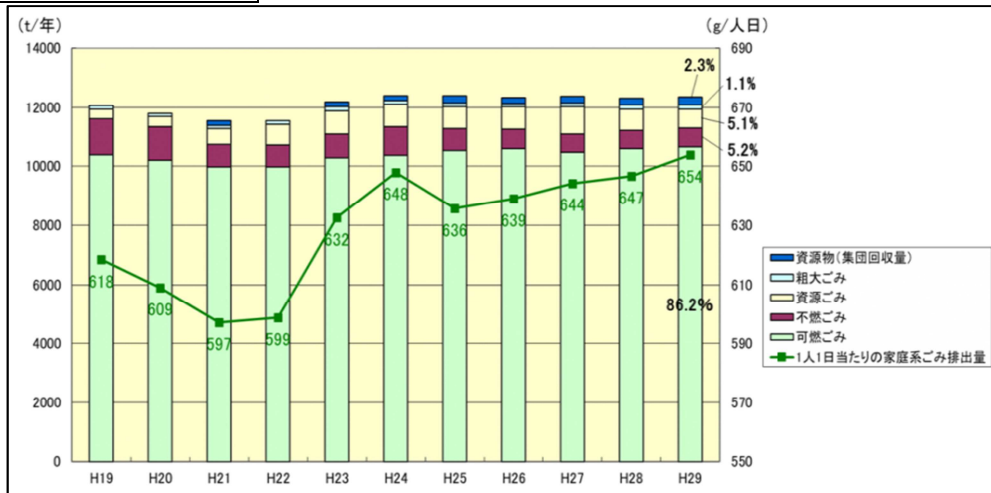
A. 人口推移



- ・ 合併以降，人口は減少傾向にあります。
- ・ 世帯数は増加傾向にあるものの，世帯あたりの人員は，減少傾向にあります。

出典：国勢調査（総務省）

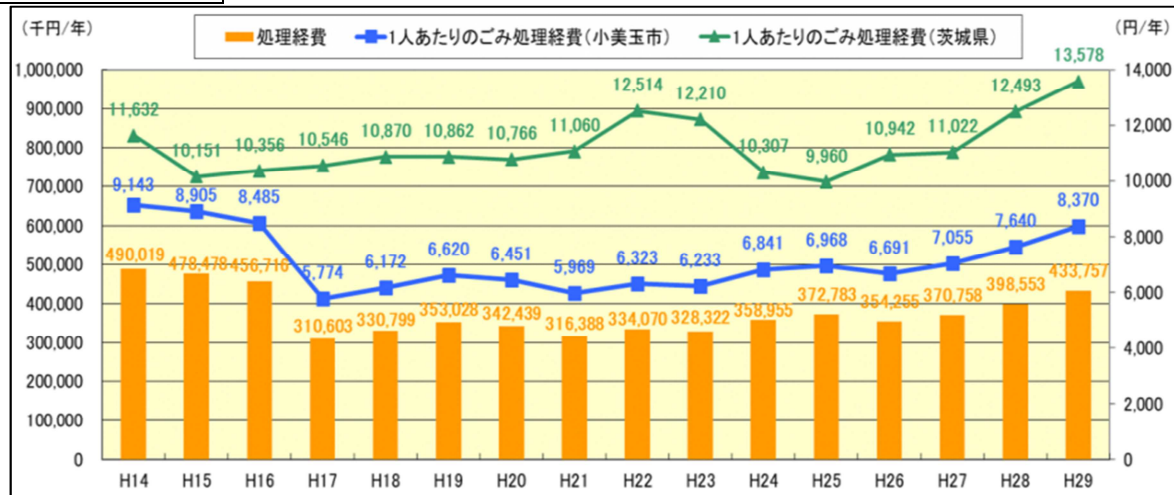
B. ごみ量推移



- ・ 合併以降，可燃ごみ量は，横ばいのままです。
- ・ 人口は減少傾向にあるため，一人当たりの可燃ごみ量としては，増加しています。

出典：実態調査（環境省）

C. 経費推移



・ごみ処理に係る経費は、毎年3億円から4億円程を要しています。

出典：実態調査（環境省）

D. 収支状況

【現行】		単位：千円	
収入	手数料	46,652 (A)	※指定ごみ袋
支出	ごみ処理経費	367,919 (B)	※施設建設費は除く
	財源充当率	12.68% (C)=A/B	

出典：平成30年度決算

参考（指定ごみ袋_他自治体サンプル）



参考（「国有料化指針」一部抜粋）

平成17年5月26日、廃棄物処理法第5条の2第1項の規定に基づく「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」（以下「基本方針」という。）が改正され、国全体として一般廃棄物処理の有料化を推進することが明確化された。

「経済的インセンティブを活用した一般廃棄物の排出抑制や再使用、再生利用の推進、排出量に応じた負担の公平化及び住民の意識改革を進めるため、一般廃棄物処理の有料化の更なる推進を図るべきである。」

家庭系一般廃棄物の排出量単純比例型における手数料の料金水準に関する分布の調査結果を図3-2-1に示す。

大袋1枚20円台、30円台、40円台、50円台の自治体が40件以上と多い。また、30円台をピークに、手数料が高くなるほど件数は減少する傾向となっている。

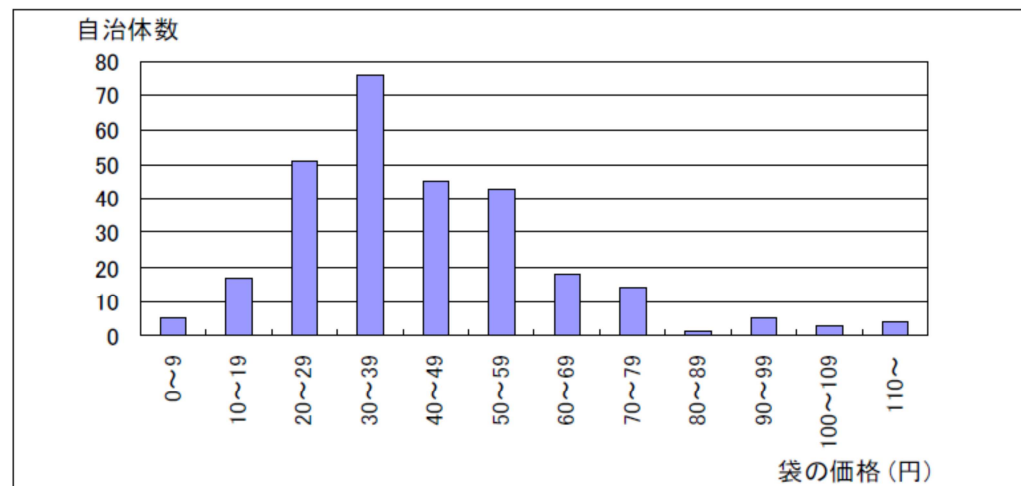


図3-2-1 家庭系一般廃棄物排出量単純比例型における料金水準分布（大袋（40～45L）1枚あたりの価格）

出典：一般廃棄物処理有料化の手引き（環境省）